

救急の出動が過去最多に！

救急の現場から

全国的に増加している救急出動件数。亀山市でも出動件数が増加し、平成 28 年は過去最多となりました。

ここでは、平成 28 年中の救急出動に関する概要と救急車の適正利用についてお知らせします。

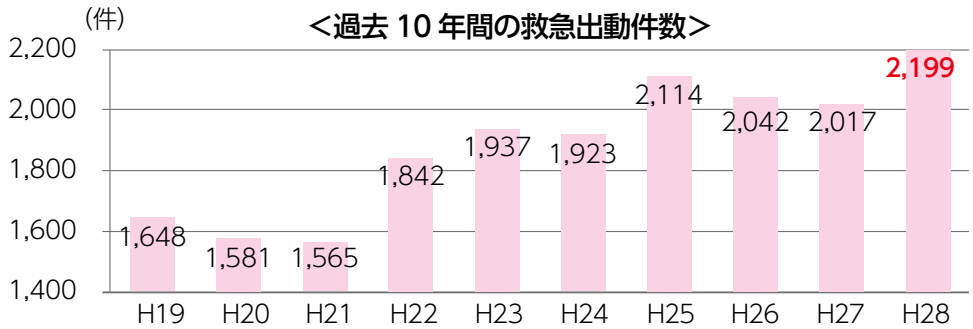


1. 救急出動件数・搬送人員

	平成 28 年中	対前年比
出動件数 (件)	2,199	+ 182
搬送人員 (人)	2,113	+ 206
1 日平均 (件)	6.0	+0.5

出動件数が過去最多に！

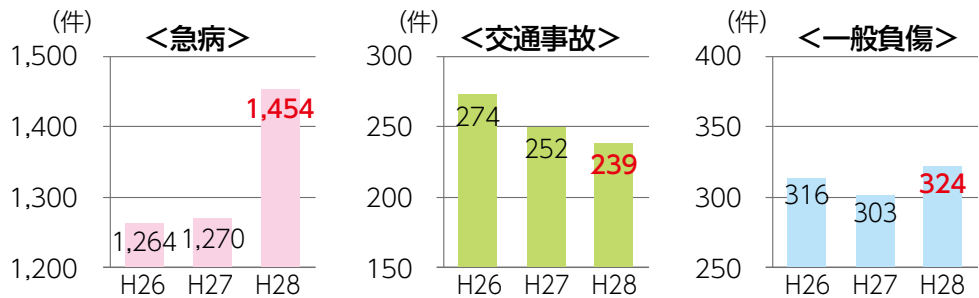
平成 28 年は出動件数が大幅に増加し、過去最多となりました。この 10 年で最も少なかった平成 21 年と比較し、約 1.4 倍もの出動件数となっています。



2. 事故種別でみた出動件数

急病による出動が増加、一方で交通事故による出動が減少

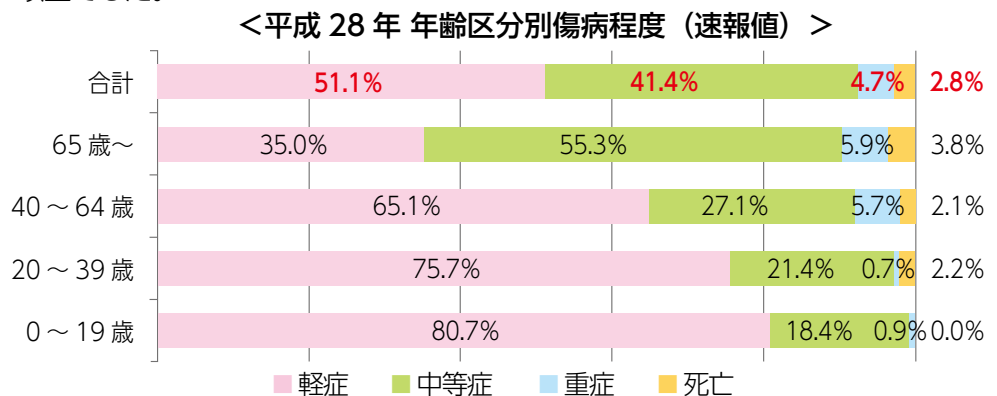
急病による出動が年々増加し、特に平成 28 年は 1,454 件と大幅に増加し、全出動件数の約 66% を占めました（そのうち、約 61% は 65 歳以上の人）。一方で、交通事故による出動は 239 件で 3 年連続減少しています。



3. 年齢区分別でみた傷病程度

救急搬送の約 50% は軽症

救急搬送した人で、入院治療の必要がない軽症の人は約 51%、3 週間未満の入院治療を必要とする中等症は約 41%、3 週間以上の入院治療を必要とする重症は約 5% でした。また、年齢区分別では、39 歳以下の人の中軽症割合が 75% 以上でした。



軽症…入院治療の必要がない人、中等症…3 週間未満の入院治療を必要とする人
重症…3 週間以上の入院治療を必要とする人、死亡…初診時で死亡が確認された人

命にかかわるお願いです。 救急車の適正な利用を！

救急車はタクシーではありません！

救急車は、重篤なけがや病気などで、緊急に病院へ搬送する必要がある人のために配備されています。

しかし、救急要請のなかには、「病院の診療時間が終了したので通報した」、「救急車でいった方が優先的に診てくれると思った」など、緊急性が低いと思われるケースも見受けられます。

救急車の台数には限りがあります。緊急に搬送する必要がある人への対応が遅れることがないように、救急車の適正な利用にご協力をお願いします。

※「意識がない」、「呼吸をしていない」、「多量の出血がある」など、緊急性が高い症状の場合は、すぐに救急車を要請してください。

「救急医療情報システム」をご利用ください！

救急車を呼ぶほどではないが、診察してもらえない病院が分からないなど、困ってしまうときがあります。

そのようなときは、救急医療情報システムなどをご利用ください。

●救急医療情報システム

▷医療情報センター（対人案内） ☎ 82 - 1199

▷自動案内 ☎ 0800 - 100 - 1199

（通話料無料、通話終了後に診療状況をファクスで受信することも可）

▷パソコン URL <http://www.qq.pref.mie.lg.jp/>

▷携帯電話 URL <http://www.qq.pref.mie.lg.jp/k/>

三重県 救急医療情報システム

※受診の際は、必ず紹介された医療機関に事前確認してください。

●小児救急医療相談事業

▷みえ子ども医療ダイヤル ☎ # 8000（各都道府県でも窓口あり）



亀山消防署 消防第二担当
會澤 誠一

<市消防本部からのお知らせ>

市では「災害情報」を案内しています

火災などの災害情報を自動音声案内や市消防本部ホームページ（軽易なものを除く）に掲載しています。ご活用ください。

●自動音声案内 ☎ 82 - 9555

●市消防本部ホームページ

URL <http://www.city.kameyama.mie.jp/shobo/>

亀山市 災害情報

亀山市消防本部は、

『市民の期待と信頼に応える消防の実現』

『市民力で防災力を高めるまちづくり』

に取り組んでいます。

市民の皆さんの

ご理解とご協力をお願いします。

問合先 消防本部消防救急室（☎82-9496）